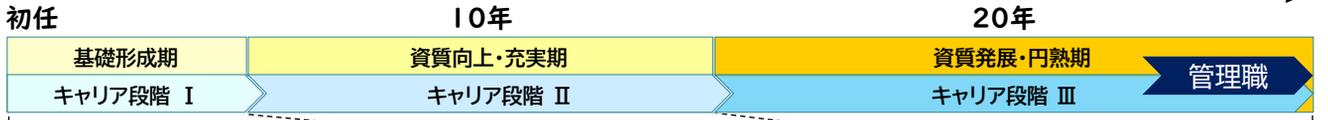
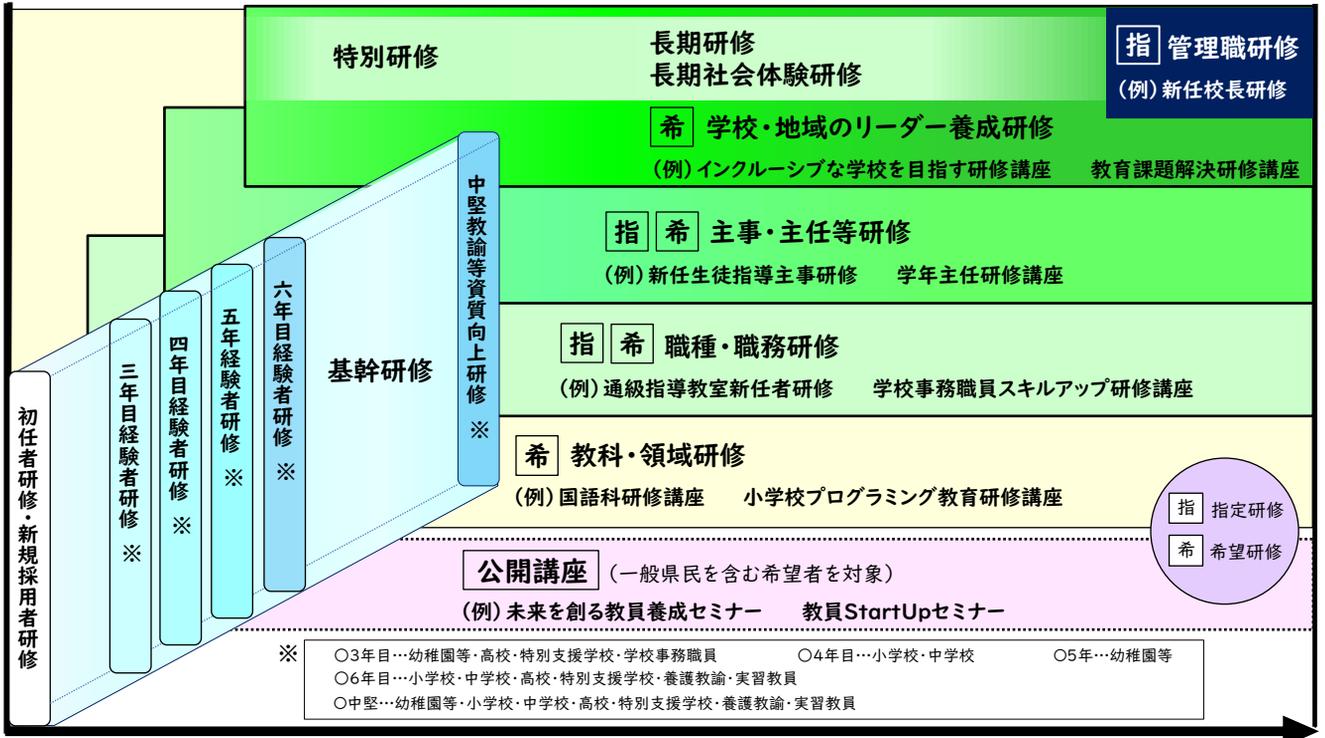


# 令和8年度ぐんま教職員ステージアップシステム



学習指導・教科経営等	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学習のねらいを明確にし、児童生徒主体の学習活動を十分に確保した学習計画を立案することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 育てたい資質・能力を明確にし、児童生徒が主体的に課題解決を図ることを中核とした単元や題材の計画を立案することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 他教科や他学年との学びのつながりや広がりを意識した学習計画や、教科横断的・探究的な学習計画を立案し、実践することができる。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 基本的な指導技術を身に付け、問題解決に向けた児童生徒が主体となる学習活動を取り入れた授業を展開することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 児童生徒の特性や習熟の状況を的確に捉え、個に応じた授業を展開することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 一人一人の児童生徒が主体的に課題を見いだすとともに、自らの学びを調整して解決に向かう授業を展開することができる。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 評価基準に基づき、一人一人の学習状況を的確に評価することで自己の授業課題を見だし、改善につなげることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 児童生徒の学習状況を多面的に分析して評価し、単元や題材における育てたい資質・能力を明確にした授業改善を図ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 他教科や他学年とのつながりの中で学校全体の学習上の課題を把握し、教育課程を改善する具体策を提案するとともに実践することができる。</li> </ul>

生徒指導・学級経営等	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 受容的・共感的な態度で児童生徒に接し、一人一人のよさや個性を積極的に理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 発達や個人の特性を踏まえ、一人一人の児童生徒の悩みや不安等を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 悩みや不安等、課題をもつ児童生徒の環境や背景を踏まえ、課題を多面的に理解することができる。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 児童生徒の個別の課題を理解し、問題行動や学習・生活上の困難さの早期発見・即時対応を行うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 児童生徒が抱える課題や困難さを分析し、学年組織を生かして受容的・共感的に個別の課題に対応することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 部会等を機能させ、担当者間の調整を図りながら組織的な指導・支援を推進し、信頼感や安心感を与える環境を整えることができる。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 一人一人の児童生徒の多様性を尊重し、互いに認め合える学級づくり、授業づくりを進めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学級や学年集団としての機能を生かし、対話と交流を核とした人間関係づくりを進めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 児童生徒による自発的・自治的な活動を計画し、児童生徒が協働できる学校づくりを進めることができる。</li> </ul>

学校組織への参画	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学校組織の一員として、分掌や担当の役割に対して、連携・協働しながら、自分の役割を果たすことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 様々な分掌の担当者等と組織的な連携を図り、具体的な支援を整理して提案し、課題解決に向かうことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域や家庭を含む学校の課題を分析し、その課題を解決するための中・長期的なビジョンをもった具体的な提案を行うことができる。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 保護者や地域等との連携の重要性を認識し、家庭との情報共有を図り信頼関係を築くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 保護者や地域等との情報共有による連携を深め、必要に応じて関係機関と協働したり、関係者に相談や助言を求めたりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学校の課題を把握し、保護者や地域、関係機関等と連携する体制を築き、課題解決に向けて協働することができる。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 危機管理マニュアル等に基づき、事案発生時の対応方法、特に初期対応について理解し、行動することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 危機を予測して未然防止を図るとともに、事案発生時には連絡・調整役として迅速に行動することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 校内の危機管理体制を点検し、事故等の未然防止に向けて、周囲に具体的で建設的な指示や助言を与えることができる。</li> </ul>

特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 一人一人の特性や教育的ニーズ等を把握し、個に応じた指導や必要な支援を行うことができる。</li> <li>● 校内支援体制の構築や協働、外部の専門機関等と連携した指導や支援の充実を図ることができる。</li> </ul>
------------------------	---

ICTや情報・教育データの利活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学習環境の改善を図ったり、質の高い探究的な学びを実現したりするため、デジタルツールを効果的に活用することができる。</li> <li>● 校務の効率化を図ったり、校務改善を進めたりするため、教育データやデジタルツールを適切かつ効果的に活用することができる。</li> </ul>
------------------	--